

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	日本語検定
科目基礎情報					
科目番号	0068		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	参考書: 『日本語検定公式練習問題集 2級』『日本語検定公式過去問題集 2級』『日本語検定公式テキスト「日本語」上級 (1・2級受検用)』 (以上, 東京書籍) など, 日本語検定公式ホームページ <a href="http://www.nihongokentei.jp">http://www.nihongokentei.jp</a>				
担当教員	江原 由美子				
到達目標					
学習目的: 日本語の総合的な運用能力を高め, コミュニケーション能力の向上を図る。					
到達目標 日本語に関する知識を拡充し, 多様な場面におけるコミュニケーションに活かすことができる。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて, コミュニケーションを図ることができる。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	日本語検定 2級以上に優秀な成績で合格する。	日本語検定 2級以上に良好な成績で合格する。	日本語検定 2級以上に合格する。	日本語検定 2級以上に合格できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>一般・専門の別: 一般 学習の分野: 国語</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別: 選択</p> <p>基礎となる学問分野: 人文学/言語学</p> <p>学科学習目標との関連: 本科目は一般科目学習目標「(3) 生きるための活力と, その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連: 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(E) 研究能力の育成, E-2: 与えられた制約の下で, 自主的・計画的・継続的に自己学習できること。」である。</p> <p>授業の概要: 日本語 (敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字) についての学習を自主的に行い, 日本語検定の受検でその成果を試す。</p>				
授業の進め方・方法	<p>授業の方法: 担当教員の指導のもとに, 日本語検定の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。</p> <p>成績評価方法: 日本語検定 2級以上に合格した者は, 担当教員に申し出るとともに, 学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し, 合・否で評価する。</p>				
注意点	<p>履修上の注意: 所定の期日までに, 選択科目履修願を提出すること。また, 本科目は資格取得による科目であり, 単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目 (自発的学習科目を除く) の内, 教務委員会で認定される単位数は, 一般科目については4単位以内である。</p> <p>履修のアドバイス: ・2級までの全級は, 受検希望者が5名以上出た場合, 津山高専で受検可能 (5名未満の場合は, 一般会場での個人受検となる)。検定実施の詳細は, 掲示板で連絡する。 ・1級は, 2級合格者のみが, 一般会場 (岡山県内では, 岡山市と倉敷市に設置) で受検可能。平成29年度の一般会場の検定日は, 第1回が6月10日 (土), 第2回が11月11日 (土)。</p> <p>基礎科目: 国語Ⅰ (1年), 国語Ⅱ (2), 国語Ⅲ (3), 国語Ⅳ (4) 関連科目: 日本語に関わる全科目</p> <p>受講上のアドバイス: ・日本語検定は, 「敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字」の6領域から幅広く出題され, 合格には, 全領域でバランスよく得点することが必要である。 ・2級は社会人・大学生レベルであるが, 実力での合格は難しく, 受検対策の勉強が必要である。自身の日本語能力と受検日に合わせて, 学習を進めること。 ・日本語検定の受検結果には, 「認定」「準認定」「不合格」の3種類があるが, 単位が認定される「2級以上に合格」は, 「2級認定」「準1級認定」「1級認定」のいずれかである (「準2級認定」は含まない)。 ・力試しで受検する場合は, 単位にはならないが, 3級 (社会人・大学生・高校生レベル) の受検を勧める。2級と3級を同時に受検することも可能である。</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本語検定についてのガイダンス。		
		2週	担当教員の指導のもとに, 日本語検定 2級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。		
		3週	同		
		4週	同		
		5週	同		
		6週	同		
		7週	同		
		8週	(前期中間試験)		
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに, 日本語検定 2級以上の受検に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。		
		10週	同		
		11週	同		
		12週	同		
		13週	同		

		14週	同	
		15週	(前期末試験)	
		16週	担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
後期	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		2週	同	
		3週	同	
		4週	同	
		5週	同	
		6週	同	
		7週	同	
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本語検定2級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		10週	同	
		11週	同	
		12週	同	
		13週	同	
		14週	同	
		15週	(学年末試験)	
		16週	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0